

サン・スーシの女 (1982)

LA PASSANTE DU SANS-SOUCI

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス／西ドイツ

時間 115分

初公開日 1984/03/30

公開情報 ヘラルド・エース

映倫 G

【解説】

世界人権擁護委員会の代表者マックスはパラグアイ大使との会見席上、その本名を確認すると同時に大使を撃ち殺した。獄中のマックスは面会に来た妻に静かに語り始める。これが、身も裂けんばかりに壮絶な復讐譚の幕開けである。時は遡り1933年、父をナチスに殺され、知人であるミシェルとエルザ夫妻の家に厄介になる幼いマックス。だが、抵抗運動の果てにミシェルが逮捕され、エルザに目をつけたドイツ大使は釈放と引き換えに彼女に迫る。釈放の日、エルザとミシェルを待っていたものはたして……。エルザに対してほのかな恋心を抱いていたマックスの半世紀に渡る積年の恨み、そしてその思いをそこまで持続させたエルザの魅力を体現したR・シュナイダー。彼女はマックスの妻役もこなし、マックス自身の思いの重さをここでも表現している。まさしく、シュナイダーのための映画と言ってよいだろう。

【クレジット】

監督	ジャック・ルーフィオ	Jacques Rouffio
製作	レイモン・ダノン	Raymond Danon
原作	ジョセフ・ケッセル	Joseph Kessel
脚本	ジャック・ルーフィオ	Jacques Rouffio
	ジャック・キルスネル	Jacques Kirsner
撮影	ジャン・パンゼ	Jean Penzer
音楽	ジョルジュ・ドルリュエ	Georges Delerue
出演	ロミー・シュナイダー	Romy Schneider
	ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli
	ヘルムート・グリーム	Helmut Griem
	マチュー・カリエール	Mathieu Carriere
	ドミニク・ラブリエ	Dominique Labourier
	マルセル・ボゾネ	Marcel Bozonnet
	マリア・シェル	Maria Schell
	ジャン・レノ	Jean Reno